

## ○ 車両規則書 ○

### 基本仕様(参加車両の最低限ルール)

車両規則書に記入が無い改造・交換はできません。

#### ① 保安部品

ウインカー、ミラー、テールライト、スタンド、タンデムステップは取り外してください。

エンジンのキルスイッチを必ず設けること(バンドルクリップを握ったまま操作が出来ること)

ヘッドライトを付けること(4時間耐久&8時間耐久の決勝 16:00よりライトON)

※ライトオンが出来ない車両は、決勝走行できません

※耐久スタート時のライトオンは自由とします。(常時点灯でもOK)

#### ② タイヤ

スリックタイヤは使用できません。

タイヤへの追加工は禁止します。

使用限度を超えているタイヤの使用は禁止します。

#### ③ ボディーワーク

カウルの変更は可 但し、突起物と判断された場合は使用できない。

ハンドルを左右いっぱいに切った時、タンクやカウル等と指をはさまないようにしてください。

フルカウル車両のフロントフェンダー取り外しは出来ますが、フルカウル非装着車両の場合は、フロントフェンダーは必ず付けてください。

4stクラス車は必ずオイル受け(オイル溜まり)を設けること

同メーカーのタンク流用はOKとする。但し取り付けの際、ステイなどはボルト固定のみとする。フレーム切断・溶接などの取り付けはNG

※燃料タンクの社外メーカータンク使用・加工は一切できません。(GP100クラスは除く)

#### ④ 突起物

車両にライダー等を傷つける恐れのある突起物(尖ったレバー、破損して鋭利になった部分)がないように気を付けてください。

#### ⑤ チェーンガード&スプロケットガード

全車にチェーンガード&スプロケットガード(フロント及びリア)の取り付けを義務付けます、チェーンガードについては、メーカー純正で装着されているもので十分です。

※スプロケットガードの取り付けの為の加工は可

#### ⑥ ゼッケン

フロントゼッケン・サイドゼッケン3面に出来るだけ大きく見やすい数字のものをご用意ください。

※リアシート形状により、左右のゼッケンを張るのが、困難な場合は、車両の後方から見て分かるように、シートカウル上部ゼッケンを付けてください。また、アンダーカウルの後端左右にサポートナンバーをつけてください

ゼッケン色・ゼッケンベース色の指定はありません。但し番号が分かりやすい色にしてください。

#### ⑦ オイルキャッチタンク

オイルキャッチタンクを必ず装着してください。

転倒時に容易に外れたりしないよう固定してください

#### ⑧ ガソリンキャッチタンク

プリーザー付燃料タンク及びキャブレターに必ず装着してください。

キャッチタンク中を空にしておくようにしてください。

#### ⑨ オイルドレンボルト・オイルフィルターキャップ

ワイヤーロックするようにしてください。又、フィルターキャップをプリーザーチューブ等に装着するために変更している場合は、ホース等が容易に外れないように固定してください。

#### ⑩ 加工・変更可能な部品

オイルポンプ・クラッチ・ミッション・スプロケット・チェーン・ブレーキ関係

キャブレターのセッティングパーツ・エアークリーナBOX・ラジエター(ST125のみ ミッション変更不可)

フロントフォーク・スタビライザー・リアサス・ハンドル・レバー・ステップ

純正ミニバイクフレームに同メーカーの純正エンジン交換可(NSRにエイブ用エンジンに変更等)

※取り付けの際、最小限のフレーム加工等は可

※エンジン取り付けで、安全上問題が有ると判断された場合は走行できない。

電装パーツ類(CDI・ECU・プラグ・プラグコード・発電装置・バッテリー)

NSR50とNSF100の総合利用は可、但し、安全上問題が有ると判断された場合は走行できません。

**チタンボルト合金の使用可、但し、安全上問題が有ると判断した場合は使用禁止とする。**

#### ⑪ ヘッドライトの取り付け

純正ライトもしくは、LEDライト等を外れないよう固定すること(マグライトでもOK 但し、外れないようステイ等で頑丈に固定すること)

オリジナルライトの場合は、操作上問題が出ないように固定してください。

ガラス製ライト使用の場合、飛散防止の為、クリアテープを付けてください。

※PIAA製のライトを推奨します。

#### ⑫ テールランプの推奨

テールランプの取り付けを推奨します。但し、テールランプはヘッドライトと連動していること。

#### ⑬ 大会時に交換パーツについて

大会時に重要部品交換時は再車検を受けること

※重要部品とは、タンク・エンジン・フレーム等

### 2st - SP50クラス

#### ① エンジンパーツ関係の加工・交換は出来ません。

※エンジンパーツ関係とは、ヘッド・シリンダー・クランク・クランクシャフトです。

#### ② マフラー・チャンバー・サイレンサーの加工・交換ができます。

#### ③ 排気量UPは出来ません。(50cc)

#### ④ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること。

### 4st - SP100クラス

#### ① エンジンパーツ関係の加工・交換は出来ません(同メーカー、純正パーツ流用はOKです。)

※カムの流用例 XR80・エイブ100・XR100・NSF100の流用可

※エンジンパーツ関係とは、ヘッド・カムシャフト・シリンダー・ピストン・クランク・クランクシャフト・クランクケースです。

#### ② キャブレター・マフラー・チャンバー・サイレンサーの加工・交換ができます。

#### ④ 排気量UPは100cc以下までです。

#### ⑤ オイルクーラーの取り付けはできます。(取り付けの為の最小限の加工・部品交換はOKです。)

※エンジン保護目的のシャワーヘッドカバー等の取り付けはOKです。

#### ⑥ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること

#### ⑦ NSF(ノーマル)は4st - SP100クラスとします。変更部品によっては、クラスは変わります。

※横型エンジンは111cc以下までです。(例 モンキー GAG KSRなど)

※KSRのエンジンパーツ関係の加工・交換はできません(交換・変更を行った場合は、GP100クラスになります)

### 4st - SP100IIクラス

#### ① エンジンパーツ関係の加工・交換は出来ません(同メーカー、純正パーツ流用はOKです。)

※カムの流用例 XR80・エイブ100・XR100・NSF100の流用可

※エンジンパーツ関係とは、ヘッド・カムシャフト・シリンダー・ピストン・クランク・クランクシャフト・クランクケースです。

#### ② マフラー・チャンバー・サイレンサーの加工・交換ができます。

※純正流用キャブレターはOKです(例・XR100にNSFのキャブを使用する等)

#### ⑧ 排気量UPは100cc以下までです。

#### ⑨ オイルクーラーの取り付けはできます。(取り付けの為の最小限の加工・部品交換はOKです。)

※エンジン保護目的のシャワーヘッドカバー等の取り付けはOKです。

- ⑩ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること

※横型エンジンは111cc以下までです。(例 モンキー GAG KSRなど)

※KSRのエンジンパーツ関係の加工・交換はできません(交換・変更を行った場合は、GP100クラスになります)

#### 4st - GP100クラス

- ① 改造・変更は自由です。 但し、安全上問題が有ると判断された場合は走行できません。

- ② 排気量UPは100cc以下までです。

- ③ 基本仕様 ①～⑨ ⑪ ⑫を満たしていること

※2018年の Super ドリーム Sunday レース8耐久レースから、GP100 は廃止となります。

※2019年の Super ドリーム Sunday レースのシリーズ戦から、GP100 クラスは廃止となります

#### 4st - ST125クラス

- ① エンジンパーツ関係の加工・交換は出来ません

- ② GROM125・Z125Pro・KSR110・HOPPER125(SE含む)のみ参加可能クラス。

- ③ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること。

- ④ KSR110を Z125Pro のシリンダー & ピストンを使用して125ccに UP は OK です。

(社外のシリンダー & ピストンの使用はできません)